



議会だより

千早赤阪

ちはやあかさか

特集

地域子育て支援拠点「ひまわり」にて懇談会

一般質問

徳丸 初美

タクシー券の利用について
補聴器購入に対する村の補助を

服部 幸令

農産物直売所の継続は
孤独死防止の取り組みは

田村 陽

農業への支援は十分と言えるか
村政戦略部・戦略推進課とは

井上 浩一

学校施設等の安全で快適なトイレ整備は
村内の道路施設の整備計画は

藤浦 稔

新庁舎建設事業の進捗状況は
職員の過重労働と人事管理は

平田 常信

小・中学校の今後の郷土学習などは



臨時議会 議決結果（令和4年11月4日）

○全会一致で可決・同意・承認された案件

• 専決処分（令和4年度千早赤阪村一般会計補正予算（第9号））の承認 ※住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業費（3857万円）、ワクチン事業費（2811万円）ほか
• 専決処分（令和4年度千早赤阪村国民健康保険特別会計補正予算（第2号））の承認 ※傷病手当金（10万円）
• 教育委員会教育長の任命 ※栗山和之氏が引き続き任命された
• 教育委員会委員の任命 ※東條由紀子氏が引き続き任命された
• 令和4年度千早赤阪村一般会計補正予算（第10号） ※旧庁舎撤去工事費（1100万円）、応援商品券関連事業（1070万円）、野球教室（200万円）、トイレ改修工事（130万円）ほか

12月定例会 議決結果

○全会一致で可決・同意された案件

• 人権擁護委員候補者の推薦 ※田中鈴代氏を再推薦
• 固定資産評価審査委員会委員の選任 ※炭谷芳輝氏を再任
• 千早赤阪村個人情報の保護に関する法律施行条例制定 ※個人情報保護法の改正に伴い新たに条例を制定
• 議会議員、千早赤阪村会計年度任用職員、特別職職員、一般職の職員報酬及び費用弁償等に関する条例の改正 ※人事院の勧告に伴う改正
• 令和4年度千早赤阪村一般会計補正予算（第11号） ※光熱水費（800万円）、ワクチン接種（620万円）、広域水道企業団負担金（340万円）ほか
• 令和4年度千早赤阪村国民健康保険特別会計補正予算（第3号） ※光熱水費（診療所分）の増（23万円）
• 令和4年度千早赤阪村下水道事業特別会計補正予算（第2号） ※地方公営企業法適用化支援業務の履行期間変更に伴う増（359万円）
• 千早赤阪村立いきいきサロンの指定管理者の指定 ※社会福祉法人千早赤阪村社会福祉協議会が引き続き指定された
• 千早赤阪村国民健康保険診療所の指定管理者の指定 ※公益社団法人地域医療振興協会が引き続き指定された
• 令和4年度千早赤阪村一般会計補正予算（第12号） ※新庁舎建設事業費の内、備蓄倉庫等整備工事实施設業務委託料の予算科目変更による（365万円）

※金額はすべて千の位で四捨五入したものを記載しています

議長コラム

村議会議長

千福清英



卯年の新年を迎え、早や一カ月が過ぎた。

年末年始は、子どもたちと触れ合う機会が多かった。地域子育て支援拠点「ひまわり」でのクリスマス会や、学童保育に通う児童に、村文化協会が「いけばな体験教室」を、スポーツ推進委員が「ニュースポーツ4種目チャレンジ体験」を開催され、そのイベントに参加した。

子どもたちの説明を受けているときの真剣な眼差し、教えてもらったとおり出来た時の達成感と、満足げな顔、そして仲間と集うときの笑顔、子どもたちの豊かな表情を垣間見、公務を忘れ本心に癒された。また、子どもたちの元気な声が周囲の大人も活気づける。まさに『子どもは村の宝、村の元気の源!』。

我々議員は、子どもたちの健全な成長を地域住民とともに見守り、そして、村長とともに、子育ての一層の環境整備を実施していかねばならない。子どもたちが、今年、『二十歳の体づくりに出席した若者たちの要不可欠であると決意を新たに

した。さて、令和4年度も2月・3月を残すのみとなった。3月の定例会では令和5年度の当初予算(案)が提出される。このコラムを書いている頃、村長は、自分の思い(施策)がどのような形で予算化されているのかを最終確認しておられるであろう。私は、一議員としても村長とは常に意見交換してきたつもりである。

私は、当初予算(案)の審議に全力を尽くしたい。

可決された意見書

○知的障がい者・知的障がい行政の国の対応拡充を求める意見書

身体障がい者は「身体障害者福祉法」で定義され、精神障がい者は「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」で定義されている。ところが、知的障がい者に関しては、「知的障害者福祉法」で知的障がい者に対する福祉サービスは規定されているものの、知的障がい、あるいは知的障がい者の定義は規定されていない。

国際的な知的障がいの定義や、自治体の負担等も踏まえた判定方法や基準の在り方の検討を踏まえ、知的障がい行政・手帳制度を、国の法律による全国共通の施策として展開することを強く求める。

○带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書

带状疱疹の発症予防のために、ワクチンが有効とされているが、費用が高額になることから接種を諦める高齢者も少なくない。

一定の年齢以上の国民に対するワクチンの有効性等を早急に確認し、带状疱疹ワクチンの助成制度の創設や予防接種法に基づく定期接種化を強く求める。

今月の表紙



森屋 菊井 裕斗 くん
(きくい ゆうと)

6歳

父 裕一さん 母 さやかさん

いっぱい遊んで

いろんなこと吸収して

楽しい思い出いっぱい作ろうね!

表紙写真 大募集!!

議会だより「ちはやあかさか」の表紙を飾って
いただけるお子様の写真を募集しています。

【募集内容】

0歳から小学生程度のお子様の写真(複数人でもかまいません)

【応募方法】

写真掲載ご希望の方は千早赤阪村議会事務局までお電話または村ホームページ(村議会)にてご連絡ください。

議会事務局 TEL 0721-26-7168

地域子育て支援拠点

「ひまわり」にて

懇談会を開催しました！

12月19日(月)に保健センター2階、地域子育て支援拠点「ひまわり」のクリスマス会にお伺いして、村に対する思いやご意見などをお聞きしました。当日は寒い中にもかかわらず、クリスマス会ということもあり、お子さんと保護者の方12名にご参加いただき、色々な声をお聞きすることができました。



12月19日
「ひまわり」クリスマス会



川原田先生、阪口先生、首藤先生

いっぱい遊べて、イベントも盛りたくさんあります。みんなの「ホット」する楽しい場所です。是非遊びに来てくださいね。

●地域子育て支援拠点「ひまわり」

曜日 月・水・金 10時～16時

場所 千早赤阪村保健センター2階

絵本お話し会・英語遊びなどイベントもたくさん実施しています。



●保護者のみなさんにインタビュー

●中学生の通学路

- 府道の整備が不完全で危ない。
- 事故が起こらないと変わらないの？

●小吹台のスクールバス

- 義務教育なのになぜ有料なの？
- 署名が集まって金額が少し下がったそうだけど、できれば無料にしてほしい！

●小学生の登下校

- 子供の人数が少なく心配。
- 小さい子どもたちだけでは危ない。
- 全体的に歩道が少ない。

●役場前の道路

- 駐車場から役場に渡る時に怖い。
- 横断歩道をつけてほしい。



●子育て支援

- 無料おむつ制度がなくなり残念。
- 子育て支援が少なくなってきている。
- 話題になるような子育てサポートをしてほしい。

●子育て支援拠点「ひまわり」

- とても気に入っている。
- 開催日数を増やしてほしい。

●小中一貫校

- 人数が多くなっていいかも。
- 地域に学校がなくなるのはどうか。
- 2校体制で手厚い教育もいい。
- 少ない生徒数でも合併しないでほしい。

●公園

- 村内に大きな公園がほしい。
- 公園に駐車場を作ってほしい。
- ちびっこ広場に子供が遊べる遊具がない。

短い時間でしたが多くのご意見をお聞きすることができました。今後、議会での議論の参考とさせていただきます。
ご協力いただきましたみなさま、ありがとうございました！

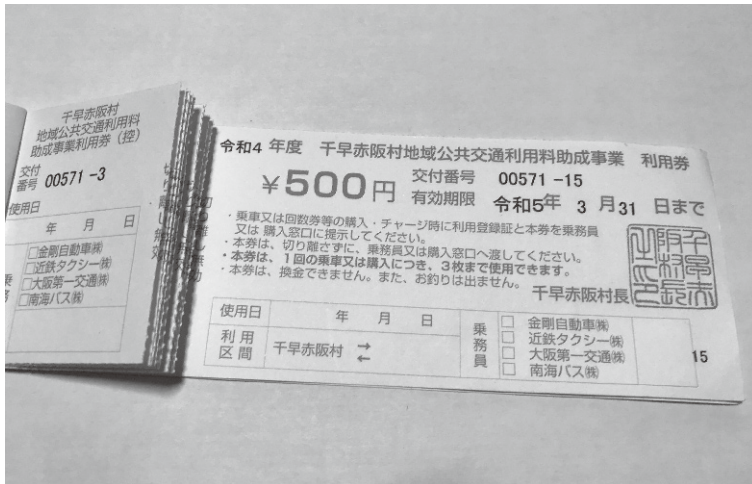


タクシー券の利用について



内容の変更は考えていない

地域公共交通利用料助成事業 利用券



問 75歳以上の住民にタクシー券を配布しているが、利用月が記入されているため利用月が過ぎると使えない。1年間いつ

答 令和5年度の利用券の配布枚数は、増やすこと



徳丸初美議員

でも使えるようにしてほしい。

問 今後、券を増やしていく計画はあるのか。

答 年度末にバス回数券の購入やICカードへのチャージが集中したため、年間を通じてご利用いただくよう、令和4年度から有効期間を設けた。

も含めて内容の変更は考えていない。

問 住民の中には1年間いつでも使えるようにしてほしいという声がある。

答 令和5年度の地域公共交通利用料助成事業の内容の変更は考えていない。

望 これから村では高齢者が年々増えていくことが考えられる。バス、タクシーの補助券は大変助かっていると住民の皆さんは心待ちにしている。村長のマニフェストにもあるように一人も取りこぼさないためにも、住民にとって居心地のよい村になるよう力を尽くすよう要望する。

望 これから村では高齢者が年々増えていくことが考えられる。バス、タクシーの補助券は大変助かっていると住民の皆さんは心待ちにしている。村長のマニフェストにもあるように一人も取りこぼさないためにも、住民にとって居心地のよい村になるよう力を尽くすよう要望する。

補聴器購入に対する村の補助を

を注視しているところである。

問 全国的に高齢化が進む中で加齢による難聴者が増えている。加齢性難聴は日常生活を不便にしコミュニケーションを困難にするなど、日常生活の質を落とす大きな原因となっている。補聴器の使用は聞こえの向上・改善にとどまらず、認知の低下を防ぎ、社会参加を広げるための必需品となっている。高齢者が社会参加し、元気で活躍することは健康な体を作り、医療費や介護費用の削減効果をもたらすともいわれている。補聴器は大変高額なものであり、3月議会の答弁では、単独補助は考えていないとのことであったが、現時点での考えを伺う。

答 村単独での助成は考えておらず、引き続き国や府、近隣自治体の動向

望 高齢期を自分らしく生き、健康寿命を延ばすためにも聞こえの支援は大切である。補聴器購入補助が出るよう要望する。

望 高齢期を自分らしく生き、健康寿命を延ばすためにも聞こえの支援は大切である。補聴器購入補助が出るよう要望する。





問 農産物直売所の継続は

答 閉店の協議結果を変えない

問 令和4年3月末で閉鎖予定だった農産物直売所が、令和5年3月末まで営業が延期された。今後の計画について伺う。

答 令和4年3月末で閉鎖することが決定されて



農産物直売所

問 令和4年9月頃に、小吹台で孤独死の事例があった。本村では高齢化が進んでおり、伴侶を亡くした一人暮らしの支援がますます課題になると考えられる。

答 本村では、緊急通報装置の貸与や配食サービス事業を実施。社会福祉協議会では、愛の訪問サービス事業を行っている。

要望 他の自治体では、「民間事業者と連携した見守り強化」を行っている。例えば、ごみ収集や水道の検針時に安否確認をしてもらう等、防止対策を行っている。誰一人とりこぼさないためにも、さらなる官民一体での「民間事業者と連携した見守りの強化」を要望する。

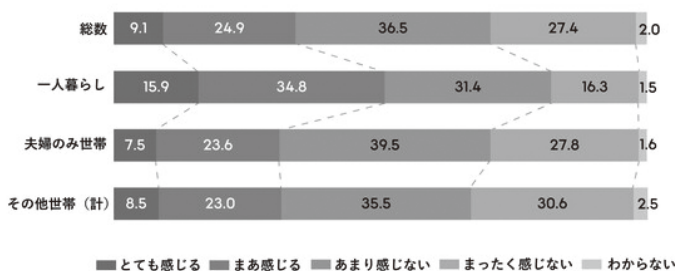
服部幸令 議員

答 建物が耐用年数を超え、老朽化が激しいので、施設は撤去する方向だ。

問 農産物直売所の跡地の利活用の計画は。

答 孤独死を防ぐためにも、本村の防止対策について伺う。

孤立死を身近な問題と感じるものの割合



(注1) 調査対象は全国の60歳以上の男女

(注2) 「その他世帯(計)」は、二世帯世帯、三世帯世帯及びその他の世帯の合計をいう。

※本調査における「孤立死」の定義は「誰にも看取られることなく、亡くなった後に発見される死」

内閣府令和2年高齢社会白書(全体版)



農業への支援は十分と言えるか



十分な支援が行われていないと認識



田村 陽 議員

	千早赤阪村			類似団体		
	全体	農林水産費	構成比	全体	農林水産費	構成比
H28	57.2 億	1,054 万	1.8%	75.2 億	3,956 万	5.3%
H29	66.1 億	1,034 万	1.6%	76.8 億	4,695 万	6.1%
H30	69.2 億	1,187 万	1.7%	76.8 億	4,513 万	5.9%
R1	64.8 億	1,444 万	2.2%	80.1 億	4,710 万	5.9%

平均

1.8%

平均

5.8%

決算額の農林水産費の割合

遊休農地の増加、農地の基盤整備が行き届いていないなど課題が山

者の高齢化や担い手不足、

② 農業従事

は、経営規模に大きな差がある。

① 類似団体と都市近郊に位置する村の農業とでは、経営規模

① なぜ本村の農林水産費はこれほど低いのか。

② 農林水産費に対し十分な支援が行われていると考えているのか。

別歳出を比較すると、

類似団体の農林水産費が歳出全体に対して占める割合はおよそ6%。対する本村の割合はわずか2%ほど。本村は類似団体の3分の1しか農林水産業に力を入れていないことになる。

本村の大きな問題点の一つに長期的な視点の

村政戦略部・戦略推進課とは

「支援は十分ではない」と認識しているから、農家の悩みに直接届くような施策を行っていくべきだ。住民目線で農業政策を行ってほしい。

令和5年度には新しい予算措置は行わないのか。

地域計画策定に向けて実施する農業者への意向調査の経費を計上する。

「支援は十分ではない」と認識しているから、農家の悩みに直接届くような施策を行っていく。

積んでいることから農業への十分な支援が行われていない状況であると認識している。

「農業への十分な支援が行われていない」と認識しているということか。

農業者の意向調査を行い、地域計画を策定していく。

体DXの推進、企業誘致、

戦略推進課では、デジタル庁創設などの動きに乗り遅れないよう自治

戦略を担うわけではないのか。

戦略推進課は長期的戦略を担うわけではないのか。

通常業務とは切り分けたところで、新たな取り組みに専心できる戦略推進課を村政戦略部内に設置した。

令和4年10月の役場組織改編

欠如がある。過去を振り返っても、その年その年の場当たりのなものになりがちであった。

さて10月の組織改編で「村政戦略部」が設置されたが、ついに長期的な視点のもとに村政運営が行われるのかと期待している。設置した理由を改めて伺う。

村政戦略部	戦略推進課	秘書企画課	危機管理課
総務部	総務課	税務課	
健康福祉部	住民課	福祉課	健康課
産業建設部	農林商工課	都市整備課	
教育委員会	教育課		
議会	議会事務局		

うのでは。

脱炭素などを担当する。

国の方針に必要ないのかもしれないが、国の政策と住民ニーズは合致しているのだろうか。強引に国の政策を押し進めるだけだと住民が置き去りになってしま



問

学校施設等の安全で快適なトイレ整備は

答

総合的に検討していく

問 インクルーシブの理念が進む学校施設では、災害対応等で様々な方が利用される可能性があり、洋式化（多目的）・温水洗浄便座付きトイレの整備が必要だ。現状と今後の計画について伺う。また、国の事業債を活用するなどの取り組みについての考えを伺う。



中学校トイレ（校舎別棟）

答 国の調査では、令和2年9月大阪府の小中公立学校トイレ洋式化率は49・9%。村の洋式化率は50・8%。温水洗浄便座付き多目的トイレは2校において設置している。更なる洋式化、防災機能向上も補助事業の有効活用を図りながら進めていく。

問 村内小中学校のトイレ整備は良い印象だが、国の目標には届かない。中学校のトイレは以前より不便だとの声もあるが、史跡上の施設のためなのか現状と今後の予定を伺う。

答 府や国に相談や要望はしたのか、特例等は認められないのか。
答 協議等はしていないが、現状変更が認められる可能性があるもので、具体的な計画等が決めれば協議していく。
要望 将来の社会を担う子供たちのため、努力を願う。

村内の道路施設の整備計画は

問 村内の道路施設は様々な要望等を受け、緊急性を考慮し計画実行していると思うが、水道・ガス等の工事業者との調整や学校周辺・避難経路等は考慮しているのかを伺う。

が、府や国に相談や要望はしたのか、特例等は認められないのか。
答 協議等はしていないが、現状変更が認められる可能性があるもので、具体的な計画等が決めれば協議していく。
要望 将来の社会を担う子供たちのため、努力を願う。

状態調査を行い、指摘の状況を鑑み優先順位をつけて実施中。カーブミラー設置数は411基、本年度は15基を標準タイプで更新予定。防曇タイプは、平成26年度から3枚の実績。価格差は1万8千円程度だ。
問 7年経過するが現状と法令の点検整備計画について伺う。また、道路占有業者との調整が出ていない様子を聞くがどうなのか。また、防曇タイプのミラーを少しでも設置しないのは何故か。ミラーの維持管理についての考えは。

答 令和3年度末での進捗状況は、最優先93%、優先43%、標準32%。橋梁等の法令点検は5年毎で計画的に補修している。占有者との調整だが、現在は円滑だ。防曇ミラーは構造上、期待通りの

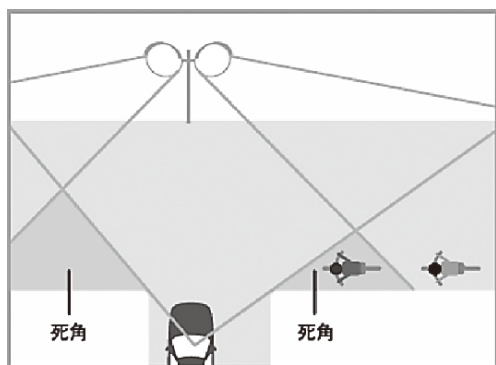
答 計画見直しに向け、調査点検が必要。
要望 進捗状況に関して、できる限りの情報提供を願う。日常の点検も担当職員の現場確認が必要だ。「LINE」等の活用も提案する。

井上浩一 議員

問 中学校のトイレは、校舎と別棟になっており、洋式化率は27・3%。改修は必要と考えるが時間と多額の費用が見込まれ、他の計画等も勘案し総合的に検討する。

答 特殊な成り立ちだが、平成27年度に路面性

カーブミラーについて、村内設置数、更新予定・新設予定数、防曇タイプ設置数を伺う。また、標準ミラーと防曇タイプの価格差を伺う。



カーブミラーにも死角があります
(道路反射鏡協会ホームページより)



新庁舎建設事業の進捗状況は



令和5年9月の完成を目指している



藤浦 稔 議員



旧庁舎北側解体

問 新庁舎は、令和4年10月1日から業務がスタートした。旧庁舎北側増築部分については、床のクラックや撤去する本館部との取り合いが複雑、さらにはアスベストを含む建材の使用が確認されるなど急転直下に見

答 新庁舎は、令和4年10月1日から業務がスタートした。旧庁舎北側増築部分については、床のクラックや撤去する本館部との取り合いが複雑、さらにはアスベストを含む建材の使用が確認されるなど急転直下に見

問 新庁舎が完成すれば、保健センターはどのように活用するのか。

答 本来の保健センターとして機能を果たすために検討する。

要望 スケジュールどおりに進めること。

問 以前から役場庁舎や保健センターに遅くまで電気がついて多くの職員が残業されているが、この事実を上層部は把握しているのか。

答 職員の過重労働と人事管理は

要望 村民の生命や生活を守るため、職員のメンタル対策について、着実に進めること。

直しが必要となった。既存庁舎の活用見直しとなった経緯及び進捗状況と今後のスケジュール・事業費用について伺う。

答 防災倉庫の老朽化で早期に再整備する必要があるので、既存庁舎の改修でなく、防災倉庫を備えた備蓄倉庫を建設することにした。

問 新庁舎が完成すれば、保健センターはどのように活用するのか。

答 本来の保健センターとして機能を果たすために検討する。



新庁舎1階フロア



平田常信 議員

問

小・中学校の今後の郷土学習などは

答

小1から中3まで一貫した「郷土学」の教育課程を整備する

問 国では2023年4月に『こども家庭庁』が設置される。従来は、大人が中心になっていた国や社会のか



郷土史学習風景（赤阪小学校）

たちを、『こどもまんなか』社会に変えていくための新しい国の組織で、これがうまく機能すれば、『子どものいじめ』『ヤングケアラー』などの問題も解決方法が見つかるのではないかと思う。さて、新しい学習指導要領では、『社会に開かれた教育課程』の実現がうたわれている。

これからの学校には社会と連携・協働した教育活動を充実させることが求められている。そのような中、先日小・中学校の郷土史学習が実施されたが、どのように評価されているのか。また、社会との交流の方法、海外との交流、学力向上の取り組みなどを伺う。

今年度より、郷土学の一環として、小学校5年生・中学校2年生を対象に、地域人材を講師とした郷土史学習を実施している。

郷土の人物である楠木正成公に関する歴史の授業を実施し、児童生徒が千早赤阪村についてより理解を深めるよい学習になったと評価している。今後は、「本村の歴史や地理、文化を学ぶことで、郷土を知り、愛し、誇りを持って語れる子どもの育成をめざす」小学校1年生から中学校3年生まで一貫した「郷土学」の教育課程を整備する。



郷土史学習風景（中学校）

また、地域の方々の協力による家庭科や図工科などの授業、役場の職員による租税教室や防災教育などの実施や、台湾やオーストラリアの小学生とのインターネットを活用した交流も予定しており、今後も「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて取り組む。

学力向上の取り組みでは、来年度より、小学校5年生から中学校1年生を対象とした、本村独自の基礎学力テストを導入し、確かな学力の定着を目指す。

要望 大阪府唯一の村に『こどもたち』が郷土を知り、郷土に誇りを持つよう要望する。

ぎかいの窓

令和4年11月21日奈良県御杖村にて「財政状況」「農業施策」「地域おこし協力隊」などについて視察した。

御杖村は人口約1500、世帯数800で、三重県との境に位置し、近鉄榛原駅、名張駅まで車で約30分。

古くは伊勢本街道の宿場として賑わっていた。

視察で感じたことだが、温泉・飲食店・農産物直売所・宿泊施設が道の駅の同一敷地内にあり、平日の昼でも賑わっていた。

『研修内容』
財政状況については、各視点よ



研修風景



御杖村視察

り数字の説明があり、特に千早赤阪村の財政状況との比較については、分かり易かった。

農業施策については、日本の田舎の自治体が問題として抱えている、人口減少・農業従事者の高齢化と担い手不足・農地の維持が困難な状況がある。

問題の対策として、新規就農者の確保・育成、特に地域の特産品『ほうれん草』栽培などの支援また既存農業者へのさまざまな支援をされている。

地域おこし協力隊については、都市地域から人口減少や高齢化などの進行が著しい地域に移住して、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PRなどの地域おこし支援や農林業への従事・地域協力活動を行いながら定住・定着を図る取り組みだが、御杖村では平成28年より実施されている。現在、地域おこし協力隊に採用され定住されている方の割合は3割弱（採用累計人数は21名）

また、平成18年に3町1村（旧大宇陀町・旧菟田野町・旧榛原町・旧室生村）の合併で奈良県宇陀市（合併当時の人口約3万8千人、現在約2万8千人）になる前の合併協議会の話聞いた。もともと御杖村も合併協議会に参加していたが、都市との考えにずれがあり、合併協議会からはずれたとの事であった。

議会を傍聴しませんか



次回定例会の予定

3月2日 (木)から3月23日(木)です。	
3月2日	本会議 午前10時
3月7日	文教建設常任委員会 午前10時
3月8日	総務民生常任委員会 午前10時
3月9日	総務民生常任委員会 (予算) 午前10時
3月10日	文教建設常任委員会 (予算) 午前10時
3月23日	本会議 (一般質問) 午前10時

上記日程はコロナウイルスの状況により変更になる場合があり傍聴についてもお断りすることがあります。

議会事務局 TEL 0721-26-7168
議会事務局は保健センター2階
議場は3階集団指導室兼議場

雑感

ロシアによるウクライナ侵攻から、間もなく1年になる。この戦争は、日本にも多大な影響を与えた。原油や電気等のエネルギー、食料品や生活必需品等、私たちの生活にも、物価高の波が押し寄せた。

地球温暖化の影響か、夏は酷暑に、冬は極寒へと、二極化が顕著になってきていると思われ、特にエアコン等の電気使用量が増え、電気安定供給

が心配されている。

令和4年末に、岸田首相は、突然、原発の再稼働、稼働期間の延長、新增設を表明し、野党だけでなく与党からも疑問の声が、さらに二十代の若者からは、将来のことを勝手に決めないで欲しい等の意見が出た。

コロナ禍もまだまだ予断を許さない状況である。

一日も早く、平和で穏やかな生活を送ることができるようになることを、祈るばかりである。

服部

広報編集委員会

委員長	井上浩一	副委員長	田村 陽
委員	徳丸初美	委員	平田常信
議長	千福清英		